

米国フロリダ州 不均一な降雨にもかかわらず柑橘類の見通しは良好

[FreshPlaza](#) 2025年8月26日

フロリダ州の柑橘類については、秋の収穫開始に先立ち現在評価中であるが、初期の観察によるといくつかの点において良好な作柄が示唆されている。ダンディー柑橘類農場のステーブン・キャラハム氏は、「昨シーズンよりも多くの果実が収穫されることは間違いない」と言い、昨シーズンにはハリケーンヘレンとミルトンがフロリダ州の産地に影響を及ぼし、一部の作物が失われたとして、「今年はまだハリケーンの影響はなく、樹上の果実は質・量ともに昨年よりも良好だ。果実の品質は大変良い」と述べた。(以下「」は同氏の話)

生育期間中には地点によって様々な降雨量が観測されているため、状況は地域によって異なる。「一部の地域では適度な降雨があったが、かなり乾燥した状態の地域もある。州全体としては、今年は例年に比べて降雨量が少ない。」同氏は、今年の出荷シーズンの開始は9月下旬になる見込みであり、これは過去の傾向と一致していると補足した。

同氏はまた、病害虫管理等の要因に関する同農場の熱心な取り組みが、良好な作柄という形で報われつつあるようだと言った。

品種に関連して、同農場は現在1千エーカー近くで、保護スクリーン下の柑橘類栽培(CUPS)事業に取り組んでいる。「樹齢が上がるに連れて、収穫量は大幅に増加している。これは、樹上の果実の量と品質をより正確に予測できるようになったということだ。」(1エーカー=約0.4ヘクタール。この記事の[原文](#)にはCUPSの写真があります。なお、特定の品目や品種はCUPSに適しているとされています(海外の果樹産業ニュース2025年[No.27](#)参照。)

露地の果樹園では、フロリダ州の柑橘類生産者が長年対処してきた厄介な課題であるカンキツグリーンング病に対して同農場が導入した対処法が引き続き効果を発揮している。例えば、同農場では根の密度を高めることで、樹冠がより厚く、密度が高く、青々としたものとなり、その結果として果実のサイズと品質が向上している。

今シーズンのフロリダ州産柑橘類の需要についても、同氏は再び成長すると見込んでいる。「我々の取り組みに対する関心は高く、出荷量が増加していることから既存の取引先の関心を集めている。また、新規の取引先も惹きつけている。」

価格については、昨年は高値であった。「過去には寒波やハリケーンが発生すると価格が2倍になることもあったが、現在ではそのような傾向は見られない。出荷量は過去に比べて大幅に減少しており、結果として価格は高くなっている。誰もがコストの上昇を経験しており、最終的にはそれを消費者に転嫁せざるを得ない。我々は価格を可能な限り合理的に保つよう引き続き最大限の努力をする。品質のよい価値のある商品の提供によって消費者の果実に対する購入意欲を維持できるよう、今後もその点を注視していく。」

執筆者: アストリッド・ファン・デン・ブローク

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)